

**旅先から自分に送る“わたしだより”の沖縄限定版
県産の琉球松を使った「琉球八景ポストカード」の販売がスタート。**

沖縄県内でクリエイティブ制作事業や「木のストロー」の商品開発・販売を展開している株式会社スマパノ(沖縄県国頭村辺戸名／代表：興津世禄)は、国頭村産の琉球松を使用した弊社オリジナルの「木の紙」に、葛飾北斎が描いた「琉球八景」をプリントした「木のポストカード(8種)」の販売を8月よりスタートいたします。

その第一弾として、8月19日より「体験王国 むら咲むら」(沖縄県読谷村字高志保)にて、観光で沖縄を訪れた人が旅の想い出を自分宛や家族宛てに送る人気企画、“わたしだより”的沖縄限定版として、当商品の販売を開始します。



▲沖縄限定「琉球八景」シリーズは8種。／販売価格1枚500円(税込み、切手代込み)

▼「わたしだより」は東京スカイツリーでも人気の企画

旅先で購入したポストカードに、自分宛(または家族宛)に旅の想い出やメッセージを書いて投函する「わたしだより」。その場所でしか購入できないオリジナルのポストカード(今回は沖縄県産の琉球松の「木のポストカード」)、デジタル時代にあえてハガキを書くという体験、旅の思い出が詰まったアイテム、という要素から、手軽なワークショップとして、コストパフォーマンスの高いお土産として、大変人気があります。

昨年から東京スカイツリーの展望台でも同様の企画を実施しており、観光客(特に外国人観光客)に好評です。今回「むら咲むら」でもショップ内でポストカードを書くスペースを用意し、店頭で切手の販売およびポストカード投函ができるようにします。

▼絵柄は、外国人に一番人気の葛飾北斎「琉球八景」

今回、沖縄限定商品に用いている「琉球八景」は、海外でも人気の高い浮世絵師、葛飾北斎が描いた作品です。北斎は実際に琉球を訪れたことはありませんが、冊封使が書いた『琉球国志略』に収録された絵図を元に描き、想像で着色したものとされています。元の絵にはない船や、琉球にはないはずの富士山や雪なども描かれた幻想的で日本的な作品です。「体験王国 むら咲むら」では、「琉球八景」8種に加えて、日本全国でお土産として人気の浮世絵シリーズ(葛飾北斎の富嶽三十六景十六景「神奈川沖浪裏」「凱風快晴」、東洲斎写楽の「三代目大谷鬼次の奴江戸兵衛」の3作品)も同時に販売いたします。(どちらもポストカードの素材は琉球松です。)

▼琉球松を使った「木の紙」について

弊社オリジナルの「木の紙」は、沖縄県国頭村産の琉球松を厚さ0.1mmにスライスした、木材を紙のように扱えるまったく新しい素材です。木と紙は手仕事によって張り合わされており、本物の木を使用しているからこそ、1枚1枚違う木目の美しさやほのかな木の香り、やさしい手触りを楽しむことができます。

【参考サイト】木の紙 <https://creco-lab.co.jp/product/product.html>

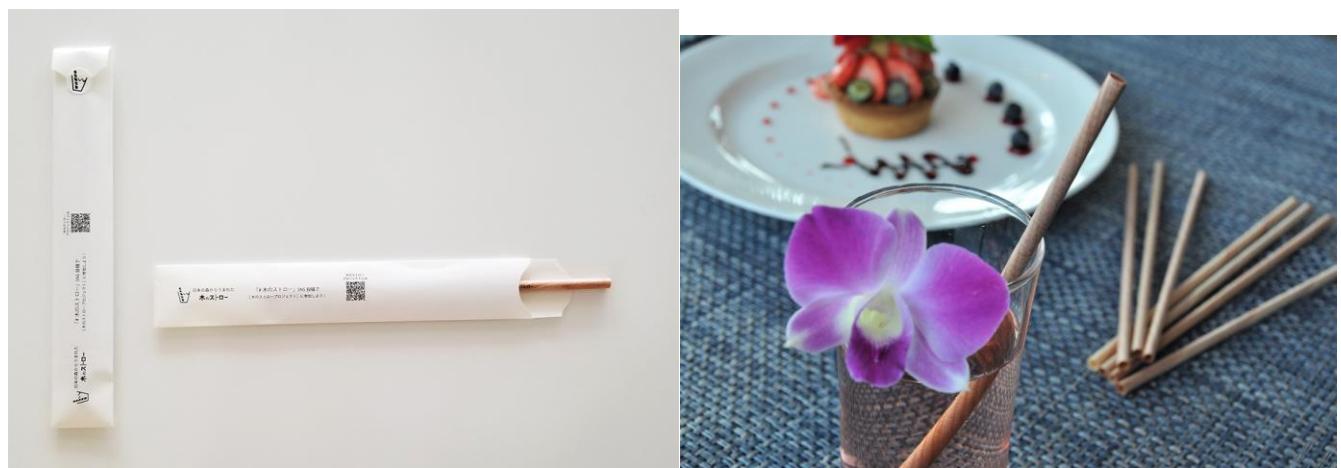


▼国産材を使った「木のストロー」もお土産品として1本から販売

弊社のオリジナル商品である「木のストロー」は、国産のスギ、ヒノキの間伐材を0.15mm程度の極薄にスライスした木のシートを独自の加工で巻き上げ、仕上げたものです。本物の木で作られているため、見た目や手触りに温かみと特別感があり、よりリラックスしてお飲物をお楽しみいただけます。世界的に進められている「脱プラスチック」や「SDGs」の取り組みにも対応する商品として、沖縄県内では今年6月よりリゾートホテルのレストランやBAR等での導入が始まっていますが、この度の琉球松のポストカードの販売と合わせて、お土産品として「1本からの販売」も「むら咲むら」にてスタートいたします。

※お土産用の木のストローは洗って食器乾燥機で十分に乾燥することで、複数回使用可能です。(衛生検査済み)

【参考サイト】水と森と木のストロー <https://forest.creco-lab.co.jp>



▲左：お土産品として1本からの販売をスタートする「木のストロー」。販売価格は180~210円(木の材質によって異なる)

右：オクマ プライベートビーチ&リゾート内レストランで導入中の「木のストロー」

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社スマパノ

沖縄県国頭郡国頭村辺土名(本社)／沖縄県牧志3-2-43-3F(那覇事務所)

担当：興津 | 070-6512-9041 Mail:info@smapano.com

<https://smapano.com/>